

水と緑の森づくり事業の実施状況について

平成 22 年 12 月 2 日

森 林 政 策 課

1 実施状況（平成 22 年 11 月 30 日現在）

事業名 実施計画額	事業内容	実施状況
水と緑の森づくり推進事業 6 百万円	・ 富山県水と緑の森づくり会議の開催	4/19 第 1 回森づくり会議開催 知事出席 (H22 事業計画、提案事業審査、H24 以降に向けた取組みなど)
	・ 森林審議会森づくり部会の開催	6/17 H21 森づくり事業の評価 (6 事業で「達成」、1 事業で「ほぼ達成」)
	・ 森づくり事業の広報活動	7/4 地産地消県民交流フェアでの広報 10/2, 22, 30 県政番組による広報 10 月 ローソンにおけるパンフレット掲示 10/2, 11/7 タウンミーティング開催 10/30, 31 とやま環境フェアに出展 等
	・ 県民参加の森づくりフェアの開催（森の祭典と併催）	5/28 水と緑の森づくり表彰、森づくりトーク、県産材遊具や森の寺子屋の体験、パネル展示等による活動紹介など（参加者約 2000 人）
	・ 森づくり県民意識調査の実施	11/6～1 月下旬 県民 2500 人を対象に意識調査(11/6～15)を実施
里山再生整備事業 131 百万円	・ 地域や生活に密着した里山の再生整備を県民協働で推進 事業主体：市町村	・ 実施面積 862ha（13 市町、97 地区） 4/20 事業実行通知
	・ 里山活用推進事業費 地域住民等の竹林利活用体験の実施 竹資源利活用のネットワーク化を支援 穂先タケノコ調理パンフレットの作成	4/1～1/11 穂先タケノコ調理パンフレットの作成（県栄養士会と委託契約） 6/5 「かぐや姫の里づくりデビュー講座」の実施（氷見市大浦地区）75 名参加 7/15 かぐやの竹舟号運行支援 10/30 「かぐや姫の里の集い」の実施（砺波市芹谷地内）158 名参加 ※サポートセンターと共催
	・ カシノナガキクイムシ枯損木除去事業の実施 事業主体：市町村	・ 除去実施量 2, 597m ³ （14 市町） 4/21 事業実行通知
みどりの森再生事業 171 百万円	・ 風雪被害林や過密人工林を、スギと広葉樹の混交林に誘導 事業主体：県	・ 実施面積 214ha（12 市町） 4/20 事業実行通知
	・ 県産広葉樹苗を県民参加で育成する「みどりの里親」	県内 4 箇所では育成中 ボランティア団体などに順次配布

とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 37 百万円	(平成 22 年 3 月末現在登録団体等)《67 団体 3,633 人、37 企業》 ・ 森林ボランティア活動を総合的、専門的に支援	・ 11 月 30 日現在の登録団体等《74 団体 3,927 人、42 企業》 4/25 ボランティア交流会開催 (南砺市小院瀬見) 140 名参加 5/23～ 森づくり塾 28 回開催 183 名受講済 7/11, 10/3 飛越源流の森づくり 県内ボランティア等 167 名参加 9/18 とやまの森づくりボランティアの集い開催 知事出席(立山町野沢地内) 265 名参加
とやまの森づくり総合情報システム事業 5 百万円	・ 「とやまの森づくり総合情報システム(森林 GIS)」の運用保守	4/1 運用保守の委託契約締結 とやまの森づくりホームページ随時更新
とやまの森づくり普及啓発推進事業 4 百万円	・ 「森の寺子屋」(森林教室・出前講座)の開催 ・ フォレストリーダースキルアップのための研修開催	・ 68 回開催実施済(対象人数 4,423 名) H22 年度 84 回見込み ・ H23 年 3 月 研修開催予定 フォレストリーダー認定者 112 名
県産材利用促進事業 17 百万円	・ 県庁舎(県民サロン及び県議事堂)における県産材製品の展示 ・ 「こどもの城」(園児デザインによる木製遊具)の製作・設置 ・ 「森に親しむ学び舎」づくり(学童机天板の県産材天板への置換、特別支援学校用備品の開発)の実施 ・ 「とやま木育推進」のための県産材遊具の開発及び貸出	・ 7/6 県産材木製品の製作・設置業務委託の契約締結 ・ 10/15 県産材木製品設置完了 ・ 6/14 実施箇所決定 (同朋幼稚園(滑川市)、新湊中部保育所(射水市)) ・ 7/17 「夢のおうち」デザイン発表会 ・ 8/7 森の見学会開催(富山市天湖森) ・ 10/10 「建て方作業」実施 ・ 11/7 「夢のおうち」竣工式 ・ 県産材天板要望取りまとめ中(冬休み頃実施予定)魚津市 30 枚、氷見市 68 枚、高岡市 98 枚、計 196 枚(978 千円)内示済、入善町(調整中) ・ 5/21 特別支援学校用備品の開発を富山大学と委託契約締結 H21 の試作品をモニター調査中県内特別支援学校にて調査中 (開発) ・ 5/21～7/16 遊具アイデア募集 ・ 8/4 検討委員会において、優秀作品決定、現在製作中 ・ 5/23～7/26 前年度試作遊具の改良版の製作 (貸出) ・ 遊具の貸出(23 件)
県民による森づくり提案事業 10 百万円	・ 実践活動事業への支援 ・ 水と緑の森づくりに対するアイデアの募集	・ 申請 27 件 採択 27 件 補助金交付決定額: 9,770 千円 応募数 4 件(今回の森づくり会議で審査)
合計 381 百万円		

富山県森づくりプランにおける森づくり施策の目標と年度別実績等

○ 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

年度	H⑱実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉒見込	H㉓計画	H㉔目標
整備面積 (ha)	366	373	333	160	81	
延べ面積 (ha)	366	739	1,073	1,233	1,314	2,000

混交林の整備

整備面積 (ha)	61	74	132	214	220	
延べ面積 (ha)	61	135	268	482	702	2,000

○ とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

年度	H⑱実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉔目標
年間参加延べ人数(人)	6,920	10,033	10,999	7,000

I 水と緑の森づくり推進事業

○趣 旨

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成22年度事業の実施状況

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者等から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成22年4月19日

- 議題
- ・ H21年度事業実施状況、H22年度事業の取組みについて
 - ・ 県民による森づくり提案事業(県民実践活動事業)の審査
 - ・ 水と緑の森づくり表彰について
 - ・ H24年度以降に向けた取組みについて

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成22年6月17日

- 内容
- ・ H21年度の事業評価の実施
 - ・ H22年度の事業概要の報告
 - ・ H24年度以降に向けた取組みについて

(3) 森づくりの広報

水と緑の森づくりの取組みについて、広く県民の皆さんに広報を行いました。

- 7月4日 地産地消県民交流フェアに出展(富山市・環水公園)
10月2,22,30日 県政番組の放送(KNB、BBT)
10月1 箇月間 ローソンに「とやまの森づくり」パンフレットを掲示
10月30,31日 とやま環境フェアに出展(高岡市・イオンモール高岡)
10月2日、11月7日 森づくりタウンミーティングの開催(富山市、高岡市)

ローソンでのパンフレット掲示状況



森づくりの実施状況などを紹介するパンフレットを作成し、県産材ラックに入れて掲示

とやま環境フェア出展状況



パネル展示、県産材遊具体験、森の寺子屋を実施し、森づくりを広くPR

タウンミーティング実施状況



知事から森づくりの実施状況について説明



県内から多くの方が参加し活発に意見交換

(4) 県民参加の森づくりフェア

4年目を迎えた森づくり活動の理解と参加を更に進め、県民参加の森づくりを加速化するため、森林ボランティア団体等の表彰と、「水と緑の森づくり事業」に取り組んでいる団体が参加する、見て触れて、体験し、交流する「県民参加の森づくりフェア」を新たに開催しました。

5月28日（射水市・太閤山ランド）

内容

- ・ 水と緑の森づくり表彰

優良な活動を行っている森林ボランティア団体、企業を表彰（5団体）

受賞団体名	代表者名	所在地
雑木囃子	石崎 千鶴子	砺波市
とやま森林サポーターの会	稲垣 寛	富山市
NPO法人南砺の山々を守る実行委員会	桃野 忠義	南砺市
北陸珈琲グループ「うるおいの森づくり」有志の会	岡田 裕之	高岡市
森づくりボランティア「天林森の会」	長谷川 貢	立山町

- ・ 見る・触れる

- ①パネル展示による「水と緑の森づくり事業」の取り組み状況の紹介
- ②チェーンソーやチップパー機など林業用機器の貸出用機器の実物展示 等

- ・ 体験する

- ①県産材積み木や木育推進のための県産材遊具体験コーナーの設置
- ②森の寺子屋の開催

- ・ 交流する

- ①水と緑の森づくり表彰受賞者と知事との森づくりトーク（活動事例発表、意見交換等）
- ②森林ボランティア団体等によるパネル展示

県民参加の森づくりフェア実施状況



水と緑の森づくり表彰



貸出用機器の実物展示



県産材遊具の体験



森づくりトーク

(5) 水と緑の森づくりに関する県民意識調査

これからの森づくりについて、「水と緑の森づくり税」のあり方も含め検討するため、県民意識調査を実施しました。

調査対象	県民 2,500人
調査手法	無作為抽出、郵送返送方式
調査期間	平成22年11月6日～15日（10日間）
最終取りまとめ	平成23年1月下旬

Ⅱ 里山再生整備事業

○趣 旨

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するとともに、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や竹林の整備を進めます。

○平成22年度事業の実施状況

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨として、里山管理利用計画に基づく里山整備や地域住民による整備活動の支援などを行っています。

【平成22年度実施状況】

事業実施地区	97地区（13市町）
対象面積	862ha
事業主体	市町村

実施例：黒部市下立地区



うっそうとして、見通しの悪い里山は、クマなどの野生動物の生息域の拡大にもつながる



野生動物との棲み分けを目指し、見通し良く整備



見通しが良く、明るい里山を保つため、地区住民が、刈払いや林内整理を実施

(2) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図っています。

【平成22年度実施状況】

事業実施地区	39地区（14市町）
除去計画量	2,597m ³
事業主体	市町村



道路沿線にある枯損木を除去しました。

(3) 里山活用促進事業

竹林の適切な管理をすすめるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

【平成22年度実施状況】

- ・かぐや姫の里デビュー講座の開催（6月5日 75名参加）
穂先タケノコなど新たな利用方法の指導
- ・とやまの竹資源ネットワークの活動（11月末現在 56団体参加）
竹材回収車（かぐやの竹舟号）の運行案内、調整（氷見市、砺波市）
- ・かぐや姫の里の集いの開催（10月30日 158名参加）
竹林の管理技術、竹材の利用方法を指導

事業主体 県



「かぐや姫の里デビュー講座」では、穂先タケノコの採取や加工方法などを指導し、「作業が簡単なので取り組んでみたい」や「太い部分でも柔らかくて食べられる」との感想がありました。



「かぐや姫の里の集い」では、地域の方々と森林ボランティアや企業の森づくりの皆さんと一緒に、竹林管理技術、利用方法などを体験しました。

一水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進一
Ⅲ みどりの森再生事業

○趣 旨

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成22年度事業の実施状況

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

混交林化を促進するための伐採・整理を行うとともに、広葉樹を植栽しています。

【平成22年度実施状況】

整備面積	・風雪被害林整理	38.2ha
	・過密人工林整理	176.0ha
事業主体	県	

実施例：南砺市砂子谷 地内（過密人工林整理）



手入れ不足により幹折れが発生したスギ人工林



枯死した木や生長の悪い木を伐採・整理



広葉樹が侵入・生長し、混交林化しつつある

(2) 県産広葉樹苗の育成等

県民の皆さんにドングリの「里親」となっていただき、森づくりに必要な苗木を育て、風雪被害林整理跡地に植栽するとともに、森林ボランティア団体等に配付し、森づくり活動に使用しています。

9月18日開催の「とやまの森づくりボランティアの集い」（立山町野沢地内）では、森林ボランティア団体への苗木の贈呈式も実施しました。

【平成22年度実施状況】

育成本数	コナラ、クヌギ、クリなど 30,000本
事業主体	県（とやまの森づくりサポートセンターに委託）



県産広葉樹苗贈呈式
 「とやまの森づくりボランティアの集い」



みどりの森再生事業地での植栽だけでなく、森林ボランティアや企業による森づくり活動、里山事業実施地区などにおいても県産広葉樹苗を活用



IVとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

○趣 旨

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成22年度事業の実施状況

(1) 登録団体数等（平成22年11月末現在）

一般登録 : 74団体 3,927人
企業登録 : 42企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し
- ・登録ボランティア団体への活動経費（設立・定着支援）や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のため「森づくり塾」を開催
自らプログラムの実施や企画・運営できるチーフの養成 など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いや交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布
- ・サポートセンターや企業の森づくりのPRパンフレットの配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



県民参加の森づくりの啓発やボランティア交流を深める「とやまの森づくりボランティアの集い」を開催しました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

V とやまの森づくり総合情報システム事業

〇趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

〇平成22年度事業の実施状況

(1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムに紹介しています。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

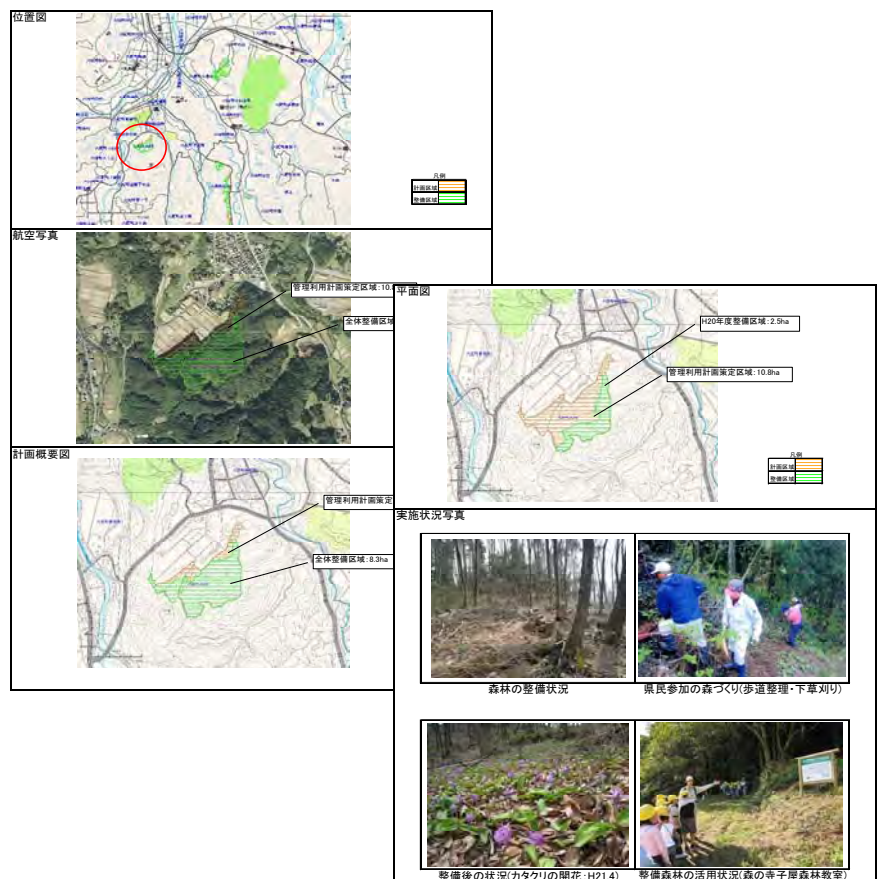
(平成22年11月19日現在アクセス数 25,670 件)

とやまの森づくりホームページ

《トップページ》



《事業実施状況の情報（里山再生整備事業地）》



特記事項
(整備の方針)
・林内の灌木・低木類のほか、小径級木を中心に40%程度の整備伐を実施する。
(事業の実績)
・森林の整備後、地域住民とボランティアの協働による森づくり活動が実施され、交流が図られた。
また、今春のカタクリの開花面積が倍化し、市内外各地から当地を訪れる人々が多数見受けられた。

水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成22年度事業の実施状況

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しています。

【平成22年度実施状況】

開催回数 68回（11月末現在）

内訳〔 出前講座 45回（参加人数 2,220人）
森林教室 23回（参加人数 2,203人） 〕

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施します。（平成23年3月開催予定）

「森の寺子屋」実施状況



「とやま森の教本」を活用して、とやまの森の働き等を解説しています。



広葉樹の小枝を加工して製作する小枝のボールペンづくりの指導をしています。



きのこの植菌を指導しています。



森林内を散策しながら、樹木の名前や働きを解説しています。

ーとやまの森づくりを支える人づくりなどの推進ー
Ⅶ 県産材利用促進事業

○趣 旨

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、
県産材を使った木製品の設置や公共施設等の木質化を進めます。

○平成22年度事業の実施状況

(1) 県有施設木質化事業

県民サロンと県議会議事堂において、県産コナラ材の家具を設置しました。

- ・ 県民サロン：椅子、テーブル各5基
- ・ 県議会議事堂：テーブル1基、ベンチ2基、棚1基

(2) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

- ・ 実施施設数 2施設（同朋幼稚園、新湊中部保育園）

(3) 森に親しむ学び舎づくり事業

- ・ 小、中学校の学童・生徒用机天板を県産材製天板に置換えます。

【実施学校数 7校（魚津市1校、高岡市2校、氷見市2校、入善町2校）】

- ・ 県産材を活用した特別支援学級用の机、椅子について製品開発します。

(4) とやま木育推進事業

「木育」推進のために県産材遊具のデザイン募集を行いました。現在試作品の製作を行っています。今後、試作品を県内児童館やイベント会場にモニター設置します。



県産材こどもの城づくり事業
（射水市 新湊中部保育園）



県産材こどもの城づくり事業
（滑川市 同朋幼稚園）



森に親しむ学び舎づくり事業
（県産材製天板導入・魚津市）



県有施設木質化事業
（県民サロンに県産材家具を設置）

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

Ⅷ 県民による森づくり提案事業

○趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。
また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

○平成22年度事業の実施状況

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年4月19日開催）で審査のうえ、支援を行なっています。

【平成22年度実施状況】

- ・ 応募件数27件 採択件数27件



スギ林や広葉樹林を整備し、地元の小学生を招いて森林教室を開催して、間伐材の搬出体験などを行いました。また、搬出した間伐材を活用して木工教室を開き、ベンチなどを製作しました。（東山見森林振興会）



「木いちご探検隊」と題し、学校林を守っている地域の方々とPTAと一緒に、子供たちが一人一人カメラを持って学校林の探検に行きました。（上市町立南加積小学校PTA）

(2) 県民からのアイデア提案

県民から事業のアイデアを募集し、第2回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年12月2日開催）で審査のうえ、事業などへの反映を検討します。

【応募状況等】

- ・ 応募件数 4件